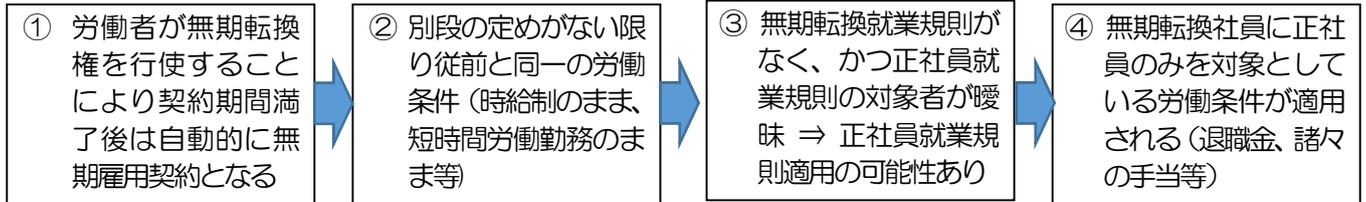


無期転換権発生への対応(2)

一般的に正社員は無期雇用契約、非正社員は有期雇用契約という整理をしており、多くの企業が正社員と非正社員との間で労働条件に諸々の差を設けていますが、有期から無期労働契約への移行が行われるようになると、たとえば、短時間勤務で、かつ無期契約という、正社員と非正社員の中間的な労働者が発生することになります。このような「無期契約のパートタイム労働者」という、いわば準社員、転換社員という新タイプの労働者を対象とする労働条件や就業規則等の検討、整備が多くの実業場で必要になると考えられます。

無期転換社員用就業規則の必要性



有期契約社員用就業規則の無期転換規定の例

(無期労働契約への転換)

- 第●条 期間の定めのある労働契約で雇用する従業員のうち、平成25年4月1日以降に開始する有期労働契約の契約期間を通算し、通算契約期間が5年を超える従業員は、別に定める様式で申込むことにより、現在締結している有期労働契約の契約期間の末日の翌日から、期間の定めのない労働契約での雇用に転換することができる。
- 2 有期労働契約の契約期間満了日とその次の有期労働契約期間の初日との間に6ヶ月以上の有期労働契約がない期間がある場合、それ以前の契約期間は通算契約期間に含めない。
- 3 この規則に定める労働条件は、第1項の規定により期間の定めのない労働契約での雇用に転換した後も引き続き適用する。ただし、無期労働契約へ転換した従業員に係る定年は、満60歳とする。

無期転換社員用就業規則の例

準社員就業規則

(目的)

第●条 本規則は、有期労働契約から無期労働契約に転換した従業員(準社員という)についての労働条件、服務規律その他の就業に関する事項を定めるものである。

(準用条文)

第●条 準社員について下記内容は、正社員就業規則及び有期契約社員就業規則を準用する。

項	適用内容	正社員就業規則	有期契約社員就業規則
1	服務規律		第●条
2	労働時間・休憩・休日		第●条
3	休暇		第●条
4	休職	第●条	
5	賃金		第●条
6	解雇		第●条
7	表章及び懲戒		第●条
8	福利厚生・安全衛生・災害補償		第●条

(退職)

第●条 準社員が次のいずれかに該当するときは退職とする。

- ① 定年(60歳の誕生日)になったとき。ただし、無期転換時点で60歳を経過している者については、65歳の誕生日とする。
- ② 本人より退職の申し出があり会社が認めたとき
- ③ 定年後も引き続き雇用することを希望する準社員については、再雇用就業規則により再雇用する。

附則 本規則は、平成●年●月●日から施行する。